

講 座 名	ビジネス基礎	教 科	商業	科 目	ビジネス基礎
開 講 学 年	3 学年	履 修 区 分	選択	単 位 数	2 単位
教 科 書	ビジネス基礎 新訂版				
教 材	全経電卓計算能力検定模擬試験問題集(3級)				

1 科目の目標・学習内容

ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させ、経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けさせるとともに、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。

2 学習の到達目標

① 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 技能	④ 知識・理解
ビジネスについて関心をもち、ビジネスの諸活動への適切な対応を目指して主体的に取り組もうとするとともに、経済社会の一員としての望ましい心構えや実践的な態度を身に付けている。	ビジネスの諸活動への適切な対応を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	ビジネスに関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動への適切な対応を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	ビジネスに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、経済社会の一員としての望ましい心構えを理解している。

3 学習計画（記載例）

月	単元名	学習内容	評価の観点				評価規準（評価方法）
			関	思	技	知	
4	オリエンテーション	年間授業計画の確認と受験予定の検定内容について理解する。 資格取得状況と現在の文字入力速度により目標値を設定する					
5	○ビジネス文書実務検定試験に向けて ビジネス文書と表現 基本文書の作成	習熟度により各級（1級、2級、3級）毎に学習内容は異なり、実技（速度・文書作成）及び筆記対策の演習と解説を繰り返す。 ビジネス活動における、情報や文書の重要性と、文書の役割や種類、構成要素などについて理解する。（各級） ワープロソフトウェアを利用した基本的な通信運書の作成に関する知識と技術について理解する。（各級）	○	○		○	情報と文書の関係などについて興味を持ち、各種文書の役割や文書の構成要素などについて、理解できたか。
6	応用文書の作成 全商ビジネス文書実務検定受験	ワープロソフトウェアの様々な機能を利用して、表やグラフなどを含む表現力の豊かな応用的な文書の作成に関する知識と技術について理解する。（各級） （各級）	○	○	○	○	ワープロを利用した基本文書の作成に興味を持ち、様々な文書を適切に選択できる。また、ワープロの基本的な機能を利用して様々な文書が作成でき、ワープロの機能などを理解できたか。 計算機能などを利用した文書の作成に積極的に取り組み、必要に応じて様々な機能を選択できる。また、表計算ソフトウェアと連携した文書作成ができ、罫線表などの機能を理解できたか。
			○	○	○	○	

7	○情報処理検定に向けて	各級（2級、3級）毎に学習内容は異なる。					
	基本的な表の作成	ビジネスにおける表計算ソフトウェアの活用方法や特徴、基本操作について理解する。	○	○	○	○	演習に積極的に取り組み、適切な表の作成や基本操作ができ、特徴などを理解できたか。
	関数を利用した表の作成	関数の特徴や、表の作成方法について理解する。	○	○	○	○	演習に積極的に取り組み、適切な関数を選択した表を作成し、関数の機能などを理解できたか。
	グラフの作成	表のデータを視覚的に理解しやすくするため、様々なグラフの特徴や作成方法について理解する。	○	○	○	○	様々なグラフを積極的に活用し、適切なグラフが選択できるか。また、目的に応じた形で作成し、特徴などを理解できたか。
	情報の整列・検索・抽出	表計算ソフトウェアのデータベース機能を利用し、表のデータにおける整列や検索、抽出について理解する。	○	○	○	○	表のデータを分析し、判断に利用することに興味を持ち、適切なデータを取り出すために適切な手段などが考察できるか。また、データの整列や検索、抽出ができ、意義などを理解できたか。
8	ビジネスと統計	統計資料のデータなどから、目的に応じた適切な計算や、ビジネスにおける需要予測などの傾向をとらえる方法などについて理解する。	○	○	○	○	統計資料を分析するための方法について関心を持ち、様々な分析手法を活用し、結果を適切に表現できる。また、表計算ソフトウェアを活用した分析ができ、目的や活用方法を理解できたか。
9	情報モラル	情報化社会に参画するために必要な法規やルールなど、個人が身につけるべき情報モラルについても理解する。	○	○	○	○	情報化が社会に与える影響に関心を持ち、モラルなどに基づいた行動ができるか。また、問題点について説明ができ、理解できたか。
	ハードウェアとソフトウェア	コンピュータのしくみと、ハードウェアとソフトウェアの役割について理解する。	○	○	○	○	ハードウェアとソフトウェアに興味を持ち、適切な選択と基本操作ができるか。また、図などを用いて説明でき、理解できたか。
	○情報通信ネットワークとセキュリティ管理						
	情報通信ネットワークの概要	情報通信ネットワークの役割やしくみと、ビジネスにおける利用方法や効果について理解する。	○	○		○	情報通信ネットワークに興味を持ち、活用方法を考察できるか。また、仕組みや活用例を説明でき、理解できたか。
	セキュリティ管理の基礎	インターネットを利用するために必要なセキュリティ管理の方法について理解する。	○	○	○	○	情報技術におけるセキュリティ管理について興味を持ち、対策などを考察できるか。また、個人が身につけるべき方策や様々な問題点などについて理解できたか。
10	全商情報処理検定受験		○	○	○	○	
	○電卓計算の基礎	数字の書き方 合理的な数の扱い方と概数・概算。	○	○	○	○	電卓に興味を持ち、意欲的に電卓の機能を身に付けようとしているか。また、より早く・正確に計算できるように考え努力しているか。
11	電卓の使用方法	タッチメソッドの習得 メモリーキーの習得 GTキーの習得 定数計算の習得 乗算・除算・見取算・複合算・伝票算					電卓の機能・操作方法を正しく理解しているか。

12	売買に関する計算	売買に関する基礎的・基本的な計算及び応用的な計算について考察し、計算の考え方について理解を深めます。また、度量衡や紙幣の換算、利息の計算を通して、国際的なビジネス観を身に付けます。	○	○	○	○	売買取引とビジネス計算について関心を持ち、流通活動におけるビジネス計算の意義について理解し、正確な計算ができているか。
	売買に関する計算の基礎						
	売買に関する計算の応用						
	1						
1	ビジネスとコミュニケーション	ビジネスにおける基本的なマナー、良好な人間関係を構築することの意義や必要性及びビジネスに対する望ましい心構えや態度を身に付けます。ロールプレイングでの実習を通して実践的なビジネスマナーを身に付けます。	○	○		○	ビジネスマナーに対する意義や必要性について理解し、望ましい心構えや態度を身に付けているか。（観察法） ・ビジネスにおける適切なみだしなみや挨拶、言葉遣いなどロールプレイングを通して身に付けることができているか。（ロールプレイング）
	コミュニケーション		○	○		○	
	ビジネスマナー		○	○	○	○	

4 評価基準

関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解の4観点より総合的に評価する。